

敦賀発電所 1 号機のシュラウド取替えについて

当社敦賀発電所 1 号機は炉内構造物の応力腐蝕割れに対する予防保全対策として、今般、炉内構造物の一つであるシュラウドについて、第 27 回定期検査（平成 12 年度）で取り替えることとしました。

敦賀発電所 1 号機のシュラウドについては、海外や国内での応力腐食割れ事象に鑑み、定期的な検査により健全性を確認するとともに、炉水への水素注入による腐食環境の緩和を実施してきており、これまでも有効な予防保全が図られているところであります。

一方、本年になりシュラウドの取替工法についての開発及び実証試験が完了したことなどを踏まえ、当機でのシュラウド取替についての技術的妥当性や経済性等、総合的に検討を行ってきましたが、なお一層の信頼性向上の観点から、当社として決定したものです。

今後、計画の具体的内容について検討していくこととします。

以上

【用語解説】

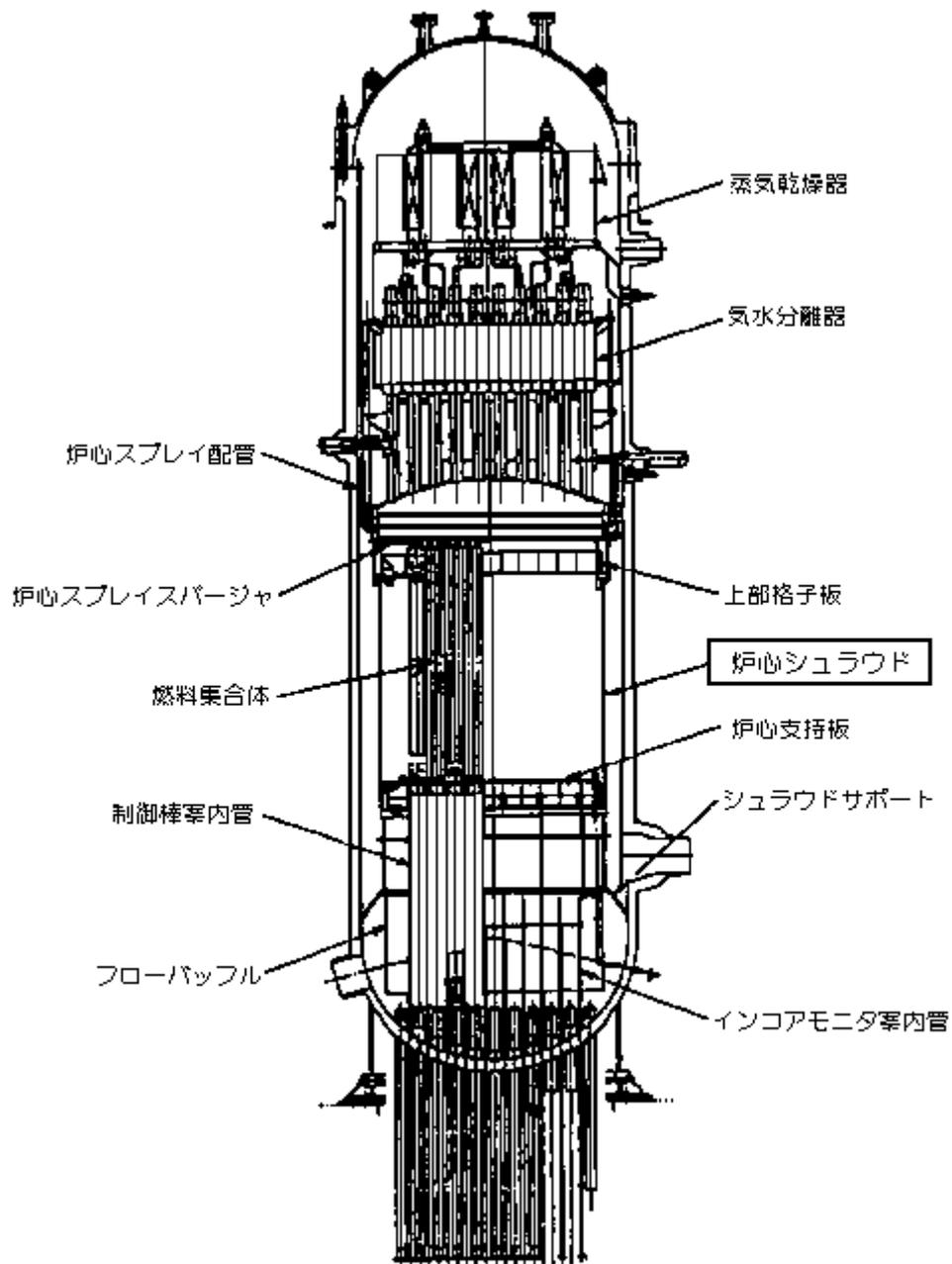
・炉内構造物とは

炉内に装荷されている燃料の支持、冷却水の効率的な循環、炉心への注水などの機能を有する鋼製の構造物をいう。代表的には、シュラウド、シュラウドサポート、炉心スプレイ配管がある。

・シュラウドとは

原子炉圧力容器内において、原子炉冷却水の流路を形成するため、炉心の外周部に設置された円筒形のステンレス構造物。

図 原子炉圧力容器 炉内構造物の構造



原子炉圧力容器

炉内構造物の構造